

## 令和元年第8回函館市教育委員会定例会 会議録

- 1 日 時 令和元年（2019年）8月7日（水） 午前10時
- 2 場 所 教育委員室
- 3 出席者 辻教育長，藤井委員，小葉松委員，須田委員，青田委員
- 4 欠席者
- 5 事務局 堀田生涯学習部長，松田学校教育部長，吉本生涯学習部次長，  
佐藤生涯学習部次長，佐賀井教育政策推進室長，東出管理課長，  
大室教育政策課長
- 6 傍聴者 0人
- 7 付議事項
- 日程第1 議案第1号 令和元（2019）年度教育費補正予算要求に関し，議決を求め  
ることについて
- 日程第2 議案第2号 函館市立幼稚園保育料条例の一部を改正する条例の制定依頼に関  
し，議決を求めることについて
- 日程第3 議案第3号 函館市教育振興審議会委員の委嘱に関し，議決を求めることにつ  
いて
- 日程第4 報告事項 教職員の業務改善の状況について

### ■辻教育長

- 開会宣言 午前10時
- 議事録署名人に，藤井委員，小葉松委員を選任。
- 本日の日程のうち，日程第1，議案第1号「令和元（2019）年度教育費補正予算要求に関し，議決を求めることについて」および日程第2，議案第2号「函館市立幼稚園保育料条例の一部を改正する条例の制定依頼に関し，議決を求めることについて」を「秘密会」としたいが，いかがか。
- 異議がないので，秘密会とさせていただきます。
- それでは，日程第1，議案第1号「令和元（2019）年度教育費補正予算要求に関し，議決を求めることについて」を諮る。

（秘密会につき，会議録省略）

■辻教育長

- 議案第1号については、原案のとおり決定する。
- 次に、日程第2、議案第2号、「函館市立幼稚園保育料条例の一部を改正する条例の制定依頼に関し、議決を求めることについて」を諮る。

(秘密会につき、会議録省略)

■辻教育長

- 議案第2号については、原案のとおり決定する。
- 次に、日程第3、議案第3号「函館市教育振興審議会委員の委嘱に関し、議決を求めることについて」を諮る。

■学校教育部長

- 議案第3号「函館市教育振興審議会委員の委嘱に関し、議決を求めることについて」説明申し上げる。委員の任期満了に伴い、小松一保氏ほか13名を令和元年9月1日から令和3年8月31日まで委嘱しようとするものである。参考として、机上に委員の名簿を配付している。なお、公募委員の委嘱については、改めて議決をいただきたいと考えている。

■辻教育長

- 議案第3号について、何かあるか。

■藤井委員

- 人数は減少ということか。

■学校教育部長

- はい。

■辻教育長

- いろいろな協議会を合体させていたので、一時的に大きく膨らんでいたものを再度整理して縮小していくという形になる。

■青田委員

- 学校再編についても引き続きこの審議会の新しいメンバーで審議していくのか。

■学校教育部長

- 学校再編についてもこの審議会の中に部会があり，審議を行う。

■辻教育長

- これまでと同じである。
- 議案第3号については，原案のとおり決定する。
- 次に，日程第4，報告事項「教職員の業務改善の状況について」報告を求める。

■学校教育部長

- 「教職員の業務改善の状況について」について報告する。本報告については，本年2月に実施した各学校における業務改善の取組状況の調査と全市立学校（園）のフルタイム勤務の全教職員を対象としたアンケート調査の結果から把握したものである。調査結果の詳細については説明を割愛させていただくが，「学校において取り組むべき10項目の取組」については，概ねすべての学校において取り組んでいる状況が見られたほか，教職員のアンケート調査の結果からは業務改善に対する教職員の意識が高まっている様子が見られた。本調査結果については，本年5月の定例校長会議にて，全体の結果について各学校（園）長あてに知らせるとともに，7月には今後の取組の参考としてもらうため自校の状況と学校種別の平均を比較した資料を作成し，各学校（園）に送付したところである。教育委員会としても本調査結果を今後の施策に生かしていく。

■辻教育長

- ただいまの報告について，何かあるか。

■小葉松委員

- 今回の調査結果というのは，現時点でどうかという話だが，過去との比較はできないのか。前と比べて格段に楽になっているとか，早く帰れているとか，比較可能なデータはあるのか。

■学校教育部長

- 調査としては、今回が最初である。

■小葉松委員

- 以前の調査はないのか。

■学校教育部長

- ない。ただ、今回の調査において、記述の中では教職員から以前と比べてこうなっているという内容の回答をいくつか得ている。会議のペーパーレス化が図られているといったことは多く書かれていた。

■辻教育長

- 6ページを見てみると、「勤務時間はどのように変化していますか」という質問をしているので、具体的な数値はないが、以前と比較して「減っている」「やや減っている」といったことは知ることができる。

■青田委員

- 調査としては何年くらい継続して実施する予定なのか。

■教育政策課長

- 毎年実施していく予定である。

■青田委員

- 終期は定めている訳ではないのか。

■教育政策課長

- はい。

■青田委員

- それであれば、今後経年変化もわかってくると思う。

■辻教育長

- いろいろやってみると、とても効果的なものと、意外とそうではないものがあるということがわかってきており、今評判がいいのはスクールサポートスタッフである。印刷を頼んだりという何でも屋さんのようなスタッフだが、配置している学校の評判がすごくよい。

■須田委員

- 7ページにある黒マルが「変わっていない」「やや増えている」という内容であるが、「新たな教育課題等への対応」という点が管理職も一般職も増えており、この点を何とかしなければならぬと思う。

■辻教育長

- そのとおりである。教育行政執行方針の時にも、いじめや不登校への対応についてはなかなか具体化しないということをご指摘もいただいているので、この点については考えていかなければならぬと思っている。教育委員会としても、教職員の業務改善については今後もいろいろと工夫しながらやっていきたいと思うので、よろしく願います。

■終了宣言

- 午前10時59分

議事録署名人 藤井 壽夫

〃 小葉松 洋子

調製者庶務係 土田 和宏